

# PlateSpin® Protect 11.2 SP1 インストールおよびアップグレードガイド

2017年11月

## 保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.microfocus.com/about/legal/> を参照してください。

**Copyright © 2017 NetIQ Corporation, a Micro Focus company. All rights reserved.**

### ライセンスの許諾

PlateSpin Protect 11 以降のバージョン用に購入したライセンスを PlateSpin Protect 10.3 以前のバージョン用に使用することはできません。

---

# 目次

このガイドおよびライブラリについて	5
<b>1 PlateSpin Protect のインストール</b>	<b>7</b>
PlateSpin Protect をインストールするための準備	7
システム要件	7
展開ガイドライン	9
前提条件のソフトウェアのインストール	10
Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール	11
Windows Server 2008 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール	14
PlateSpin Protect ソフトウェアコンポーネントのインストール	18
PlateSpin Protect をインストールする前に	18
PlateSpin Protect インストールプログラムのダウンロード	19
データベースサーバのインストール	19
PlateSpin Server のインストール	21
インストール後のタスク	23
<b>2 PlateSpin Protect のアップグレード</b>	<b>25</b>
PlateSpin Protect をアップグレードする前に	25
レプリケーションスケジュールの一時停止	26
データベースファイルのバックアップ	26
アップグレード手順	26
アップグレード後のタスク	28



# このガイドおよびライブラリについて

『インストールおよびアップグレードガイド』では、PlateSpin Protect ソフトウェアの詳しい計画とインストールの方法のほか、アップグレードに関する情報も取り上げています。

## 本書の読者

このドキュメントは、進行中のワークロード保護プロジェクトで PlateSpin Protect を使用するデータセンター管理者およびオペレータなどの IT スタッフを対象としています。

## その他のマニュアル

このガイドの最新バージョンおよびその他の PlateSpin Protect ドキュメントリソースについては、[PlateSpin Protect Documentation \(https://www.netiq.com/documentation/platespin-protect/\)](https://www.netiq.com/documentation/platespin-protect/) Web サイトを参照してください。

英語のほかに、オンラインドキュメントは、簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、ドイツ語、日本語およびスペイン語で提供されています。

## 連絡先情報

本書またはこの製品に付属するその他のドキュメントについて、お客様のご意見やご提案をお待ちしています。オンラインヘルプのページ下部にある[このトピックのコメントリンク](#)を使用するか、または [Documentation-Feedback@microfocus.com](mailto:Documentation-Feedback@microfocus.com) に電子メールを送信してください。

特定の製品の問題については、Micro Focus ご注文と配送 (<https://www.microfocus.com/support-and-services/>) にお問い合わせください。



# 1 PlateSpin Protect のインストール

PlateSpin Protect は、サーバオペレーティングシステム上で実行される Windows アプリケーションです。その機能は、Microsoft Internet Information Services (IIS) Web サーバソフトウェアとその機能拡張モジュール、ASP.NET Web アプリケーションフレームワーク、Microsoft .NET Framework ライブラリとランタイム、および専用の Microsoft SQL Server データベースインスタンスなど、いくつかのソフトウェアコンポーネントに依存します。

- ◆ 7 ページの「PlateSpin Protect をインストールするための準備」
- ◆ 10 ページの「前提条件のソフトウェアのインストール」
- ◆ 18 ページの「PlateSpin Protect ソフトウェアコンポーネントのインストール」
- ◆ 23 ページの「インストール後のタスク」

## PlateSpin Protect をインストールするための準備

PlateSpin Protect のインストールおよび操作のトラブルを回避するには、システム要件を確認し、インストール計画を立てる必要があります。

- ◆ 7 ページの「システム要件」
- ◆ 9 ページの「展開ガイドライン」

## システム要件

PlateSpin Server ホストは、表 1-1 にあるシステム要件を満たす必要があります。

表 1-1 PlateSpin Server ホストの要件

要件	詳細
専用のホスト	物理サーバまたは仮想サーバ
オペレーティングシステム	新規インストールの場合は、次のいずれかの Windows Server バージョンが必要です。 <ul style="list-style-type: none"><li>◆ Windows Server 2012 R2 (64 ビット)</li><li>◆ Windows Server 2008 R2 SP1 (64 ビット)</li></ul> <p>注：PlateSpin Protect をインストールする前に Windows オペレーティングシステムの Microsoft ライセンスを有効にする必要があります。</p>
プロセッサ	最低 1 GHz 推奨：マルチコア、2 GHz 以上
メモリ (RAM)	最低 4GB

要件	詳細
ディスク容量	最低 15GB  注：時間とともに、スペース消費は増えます。
データベースサーバ	<p>次のいずれかで動作する専用の Microsoft SQL Server データベースインスタンス (ローカルまたはリモート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>新規データベースサーバ</b>：Microsoft SQL Server 2014 Express Edition データベースサーバは、お求めの PlateSpin Protect ソフトウェア配布パッケージに付属しています。</li> </ul> <p>このソフトウェアは、PlateSpin Protect をインストールするときに同じサーバにインストールできるほか、PlateSpin Protect をインストールする前に、別のサーバにインストールしておくこともできます。詳細については、<a href="#">19 ページの「Microsoft SQL Server Express Edition のインストール」</a>を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>現在運用している既存のデータベースサーバ</b>：運用している既存の Microsoft SQL Server データベースサーバを使用して、データベースのインスタンスをホストできます。既存のデータベースサーバは、PlateSpin Server とは異なるサーバに常駐しています。</li> </ul> <p>サポートされているソフトウェアバージョンは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Microsoft SQL Server 2014</li> <li>◆ Microsoft SQL Server 2012 Service Pack 2</li> <li>◆ Microsoft SQL Server 2008 R2 Service Pack 2</li> <li>◆ Microsoft SQL Server 2008 Service Pack 3</li> <li>◆ Microsoft SQL Server 2005 Service Pack 4</li> </ul> <p>注：この製品をインストールする前に、既存の SQL Server データベースサーバと指定のデータベースインスタンスが、<a href="#">「データベース」にあるガイドライン</a>を満足していることを確認します。設定については、<a href="#">20 ページの「リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定」</a>を参照してください。</p>



要件	詳細
ソフトウェアの前提条件	<p>PlateSpin Protect のインストール先とする Windows サーバに次の各コンポーネントをインストールする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Windows Server 2012 R2 システムの場合：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1</li> <li>◆ Microsoft .NET Framework 4.5.2</li> <li>◆ 32 ビットモードで実行している Web サーバ (IIS 8.0)</li> </ul> </li> </ul> <p>.NET ソフトウェアは以下の Microsoft のサイトからコピーをダウンロードできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ .NET Framework 3.5 SP1 (<a href="https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=22">https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=22</a>)</li> <li>◆ .NET Framework 4.5.2 (<a href="https://www.microsoft.com/en-in/download/details.aspx?id=42642">https://www.microsoft.com/en-in/download/details.aspx?id=42642</a>)</li> </ul> <p>詳細については、11 ページの「Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Windows Server 2008 R2 システムの場合：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1</li> <li>◆ Microsoft .NET Framework 4.5.2</li> <li>◆ 32 ビットモードで実行している Web サーバ (IIS 7.0)</li> </ul> </li> </ul> <p>詳細については、14 ページの「Windows Server 2008 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール」を参照してください。</p>

National Language Support	<p>PlateSpin Protect では、英語のほか、日本語、簡体中国語、繁体中国語、フランス語、ドイツ語で設定したマシンにインストールして使用できるように、National Language Support (NLS) を提供しています。「ローカライズ済みオンラインドキュメント」には上記の各言語のほか、スペイン語も用意されています。</p> <p><b>注：</b> OS 言語設定がコンピュータ上の OS ロケール設定と一致していることを確認してください。インストールの完了後、必要に応じてコンピュータのロケールを変更できます。</p> <p>これらのいずれかの言語の Web インタフェースおよび統合ヘルプを使用するには、「PlateSpin Protect の国際バージョンの言語設定」を参照してください。</p>
---------------------------	---

## 展開ガイドライン

PlateSpin Protect のインストールおよび操作のトラブルを回避するには、表 1-2 のインストール前のチェックリストに従ってください。

表 1-2 インストール前のチェックリスト

ガイドライン	備考
専用のホスト	PlateSpin Protect を専用の物理マシンまたは仮想マシンにインストールします。「 <a href="#">コロケーション</a> 」も参照してください。

ガイドライン	備考
資格情報	管理権限を持つアカウントを使用してすべてのインストール手順を実行します。ビルトインされている管理者アカウントを使用します。
IP アドレス	PlateSpin Server のホストにスタティック IP アドレスを割り当てます。
コロケーション	PlateSpin Server を次のものと一緒に使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ドメインコントローラ</li> <li>◆ IIS アプリケーションをインストールした既存の Web サーバ</li> <li>◆ 製品を使用して保護しようとしているワークロード</li> <li>◆ 他の PlateSpin ソフトウェア (PlateSpin Migrate および PlateSpin Recon)</li> </ul>
データベース	<p>PlateSpin Protect Server に付属する <i>Microsoft SQL Server 2014 Express Edition</i> は、<a href="#">Microsoft Developer Network の推奨事項</a>に従っても、ドメインコントローラにはインストールできません。</p> <p>お手元のソフトウェア配布パッケージに付属の Microsoft SQL Server 2014 Express Edition を使用せず、現在運用している既存の Microsoft SQL Server データベースサーバを使用する場合は、<a href="#">サポートされているバージョンの SQL Server</a> を使用していることを確認します。PlateSpin Protect ソフトウェアをインストールするには、目的のサーバの名前およびデータベースインスタンスの名前がわかっている必要があります。</p> <p>リモートデータベースサーバを使用するための SQL Server の設定およびファイアウォールの設定については、<a href="#">19 ページの「データベースサーバのインストール」</a>を参照してください。</p>
UAC	インストール、削除、またはアップグレードでは、ユーザアカウント制御 (UAC) を無効にしておきます。
インストールワークフロー	<p>前提条件のソフトウェアを次の順番でインストールします。一般的な PlateSpin Protect インストールのワークフローの概要は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. サポートされているオペレーティングシステム (対応する Windows 更新プログラム適用済み)</li> <li>2. ASP.NET/IIS( 対応する Windows 更新プログラム適用済み) <ol style="list-style-type: none"> <li>a. 32 ビットモードで動作するように IIS を設定します。</li> </ol> </li> <li>3. SQL Server データベース (該当する Microsoft 更新プログラムを適用済み)</li> <li>4. PlateSpin Server.</li> </ol>

## 前提条件のソフトウェアのインストール

PlateSpin Protect をインストールする前に、必要な Web Server (インターネットインフォメーションサービス (IIS))、ASP.NET、.NET Framework、および関連するソフトウェアコンポーネントをインストールする必要があります。ソフトウェアコンポーネントのパッケージ化および配布は、サポートされている Windows Server プラットフォームのさまざまなバージョンで異なるため、手順も多少異なります。記載されている順番どおりにインストールとセットアップを行ってください。

- ◆ [11 ページの「Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール」](#)
- ◆ [14 ページの「Windows Server 2008 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール」](#)

## Windows Server 2012 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール

次の手順に従って、PlateSpin Protect のインストール先である Microsoft Windows Server 2012 R2 サーバに**前提条件のソフトウェア**をインストールします。インストールを開始する前に、[7 ページの「システム要件」](#)および[9 ページの「展開ガイドライン」](#)に精通していることを確認してください。

**必要な Microsoft ソフトウェアコンポーネントをインストールするには：**

- 1 ローカルユーザ管理者 (LUA) アカウントを使用して目的の PlateSpin Server ホストにログインします。
- 2 サーバマネージャを開きます。スタート > すべてのプログラム > 管理ツール > **Server Manager (サーバマネージャ)** の順に選択します。
- 3 サーバマネージャを使用して、Web Server (IIS) および PlateSpin Server が必要とするその他のソフトウェアをインストールしてください。
  - 3a サーバマネージャのツールバーで、**Manage (管理) > Add Roles and Features (役割と機能の追加)** の順に選択します。
  - 3b [Add Roles and Features (役割と機能の追加)] ウィザードで [インストールのタイプ] タブに進んだ後、ウィザードの処理を続行します。

[Add Roles and Features ( 役割と機能の追加)] ウィザード	アクション
1. インストールのタイプ	Role-based or feature-based installation ( 役割ベースまたは機能ベースのインストール) を選択し、次へをクリックします。
2. サーバの選択	目的の PlateSpin Server ホストを選択し、次へをクリックします。
3. サーバの役割	Web Server (IIS) を選択し、次へをクリックします。
4. Add features that are required for Web Server (IIS) (Web Server (IIS) で必要な機能の追加) のポップアッププロンプト	Include management tools ( 管理ツールを含める) を選択し、Add Features ( 機能の追加) をクリックします。
5. 機能	<p>Web Server の機能のデフォルトセットをそのまま保持し、次に示すその他の必要な機能をそのサブ機能とともに追加して、次へをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> .NET Framework 3.5の機能(すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ .NET Framework 3.5 (.NET 2.0および3.0を含む)</li> <li>◆ HTTP アクティブ化</li> <li>◆ 非 HTTP アクティブ化</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> .NET Framework 4.5の機能(すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ .NET Framework 4.5</li> <li>◆ ASP.NET 4.5</li> <li>◆ WCF サービス (5/5 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— HTTP アクティブ化</li> <li>— メッセージキューイング (MSMQ) アクティブ化</li> <li>— 名前付きパイプアクティブ化</li> <li>— TCP アクティブ化</li> <li>— TCP ポート共有</li> </ul> </li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> Windows プロセスアクティブ化サービス (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ プロセスモデル</li> <li>◆ .NET 環境</li> <li>◆ 構成 API</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> XPS ビューア</li> </ul>
6. Web Server (IIS)	情報を読み、次へをクリックします。

[Add Roles and Features ( 役割と機能の追加 )] ウィザード	アクション
7. 役割サービス	<p>Web Server のデフォルトの役割サービスセットはそのまま保持し、次に示すその他の必要な役割サービスをそのサブ役割サービスとともに追加して、次へをクリックします。</p> <p><b>[Web Server (IIS)] &gt; [役割サービス] (25/43 個をインストール済み):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> Web サーバ (19/34 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ HTTP 基本機能 (4/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— 既定のドキュメント</li> <li>— ディレクトリの参照</li> <li>— HTTP エラー</li> <li>— 静的なコンテンツ</li> </ul> </li> <li>◆ 状態と診断 (2/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— HTTP ログ</li> <li>— 要求の監視</li> </ul> </li> <li>◆ パフォーマンス (1/2 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— 静的なコンテンツの圧縮</li> </ul> </li> <li>◆ セキュリティ (5/9 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— 要求フィルタ</li> <li>— 基本認証</li> <li>— IP およびドメインの制限</li> <li>— URL 承認</li> <li>— Windows 認証</li> </ul> </li> <li>◆ アプリケーション開発 (7/11 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— .NET 拡張性 3.5</li> <li>— .NET 拡張性 4.5</li> <li>— アプリケーションの初期化</li> <li>— ASP.NET 3.5</li> <li>— ASP.NET 4.5</li> <li>— ISAPI 拡張</li> <li>— ISAPI フィルタ</li> </ul> </li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> 管理ツール (6/7 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ IIS 管理コンソール</li> <li>◆ IIS 6 管理互換 (4/4 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— IIS 6 メタベース互換</li> <li>— IIS 6 管理コンソール</li> <li>— IIS 6 スクリプトツール</li> <li>— IIS 6 WMI 互換</li> </ul> </li> <li>◆ IIS 管理スクリプトおよびツール</li> </ul> </li> </ul>
8. 確認	インストールする役割、役割サービス、機能を確認し、インストールをクリックします。

3c インストールが完了するまで待機した後、[Add Roles and Features ( 役割と機能の追加 )] ウィザードを閉じます。

- 4 IIS マネージャを使用して、32 ビットモードで動作するように IIS を設定します。
  - 4a サーバマネージャのツールバーで、**ツール > Internet Information Services (IIS) Manager (インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ)** の順に選択します。  
または、次の方法で Windows タスクバーから IIS マネージャを開くことができます。  
**Server Manager (サーバマネージャ) > 管理ツール > Internet Information Services (IIS) Manager (インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ)** の順に選択します。
  - 4b [接続] ペインでサーバ名を展開し、**アプリケーションプール**をクリックして、中央の [Sites (サイト)] ペインで使用可能なアプリケーションプールのリストを表示します。
  - 4c リストの [DefaultAppPool] を右クリックして、[詳細設定] をクリックします。
  - 4d [詳細設定] ダイアログで [32 ビット アプリケーションの有効化] を [True] に設定して、[OK] をクリックします。
  - 4e 右側の [操作] ペインで [アプリケーション プールの既定値の設定] をクリックします。
  - 4f [アプリケーション プールの既定値] ダイアログで [32 ビット アプリケーションの有効化] を [True] に設定して、[OK] をクリックします。
  - 4g IIS サービスを再起動します [接続] ペインで IIS サーバ名を選択し、[操作] ペインで再起動をクリックします。
  - 4h IIS マネージャを終了します。
- 5 サーバマネージャを終了します。

## Windows Server 2008 R2 システムへの前提条件のソフトウェアのインストール

次の手順に従って、PlateSpin Protect のインストール先である Microsoft Windows Server 2008 R2 サーバに**前提条件のソフトウェア**をインストールします。インストールを開始する前に、[7 ページの「システム要件」](#) および [9 ページの「展開ガイドライン」](#) に精通していることを確認してください。

**必要な Microsoft ソフトウェアコンポーネントをインストールするには：**

- 1 ローカルユーザ管理者 (LUA) アカウントを使用して目的の PlateSpin Server ホストにログインします。
- 2 サーバマネージャを開きます。スタート > すべてのプログラム > 管理ツール > **Server Manager (サーバマネージャ)** の順に選択します。

- 3 サーバマネージャを使用して、Web Server (IIS) を、PlateSpin Server が必要とするコンポーネントとともにインストールしてください。
- 3a サーバマネージャの左ペインで**役割**を選択し、[役割] ペインで **Add Roles ( 役割の追加 )** をクリックします。
- 3b [Add Roles ( 役割の追加 )] ウィザードで [サーバの役割] タブに進んだ後、ウィザードの処理を続行します。

[Add Roles ( 役割の追加 )] ウィザード	アクション
1. サーバの役割	<b>Web Server (IIS)</b> を選択し、 <b>次へ</b> をクリックします。
2. Web Server (IIS)	情報を読み、 <b>次へ</b> をクリックします。

[Add Roles ( 役割の追加 )] ウィザード	アクション
3. 役割サービス	<p>Web Server のデフォルトの役割サービスセットはそのまま保持し、次に示すその他の必要な役割サービスをそのサブ役割サービスとともに追加して、<b>次へ</b>をクリックします。</p> <p><b>[Web Server (IIS)] &gt; [役割サービス] :</b></p> <p><input type="checkbox"/> Web サーバ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ HTTP 基本機能 (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— 静的なコンテンツ</li> <li>— 既定のドキュメント</li> <li>— ディレクトリの参照</li> <li>— HTTP エラー</li> <li>— HTTP リダイレクション</li> <li>— WebDAV 発行</li> </ul> </li> <li>◆ アプリケーション開発(4/7個をインストール済み)</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>— ASP .NET</li> <li>— .NET Extensibility</li> <li>— ISAPI 拡張</li> <li>— ISAPI フィルタ</li> </ul> <li>◆ 状態と診断 (2/6 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— HTTP ログ</li> <li>— 要求の監視</li> </ul> </li> <li>◆ セキュリティ (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— 基本認証</li> <li>— Windows 認証</li> <li>— ダイジェスト認証</li> <li>— クライアント証明書のマッピング</li> <li>— IIS クライアント証明書のマッピング</li> <li>— URL 承認</li> <li>— 要求フィルタ</li> <li>— IP およびドメインの制限</li> </ul> </li> <li>◆ パフォーマンス (1/2 個をインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— 静的なコンテンツの圧縮</li> </ul> </li> </ul> <p><input type="checkbox"/> 管理ツール (すべてインストール済み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ IIS 管理コンソール</li> <li>◆ IIS 管理スクリプトおよびツール</li> <li>◆ 管理サービス</li> <li>◆ IIS 6 管理互換 (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>— IIS 6 メタベース互換</li> <li>— IIS 6 WMI 互換</li> <li>— IIS 6 スクリプトツール</li> <li>— IIS 6 管理コンソール</li> </ul> </li> </ul>
4. 確認	<p>インストールする役割と役割サービスを確認し、<b>インストール</b>をクリックします。</p>

3c インストールが完了するまで待機した後、[Add Roles ( 役割の追加 )] ウィザードを閉じます。



- 4 サーバマネージャを使用して、PlateSpin Server で必要とされる追加ソフトウェアをインストールします。
- 4a サーバマネージャの左ペインで機能を選択し、[機能] ペインで **Add Features (機能の追加)** をクリックします。
- 4b [Add Features (機能の追加)] ウィザードで [機能] タブに進んだ後、ウィザードの処理を続行します。

[Add Features (機能の追加)] ウィザード	アクション
1. 機能	<p>次に示す必要な機能とサブ機能を選択して、<b>次へ</b>をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> .NET Framework (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ .NET Framework 3.5.1</li> <li>◆ WCF アクティブ化 <ul style="list-style-type: none"> <li>— HTTP アクティブ化</li> <li>— 非 HTTP アクティブ化</li> </ul> </li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> Windows プロセスアクティブ化サービス (すべてインストール済み) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ プロセスモデル</li> <li>◆ .NET 環境</li> <li>◆ 構成 API</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> XPS ビューア</li> </ul>
2. 確認	インストールする機能を確認し、 <b>インストール</b> をクリックします。

- 4c インストールが完了するまで待機した後、[Add Features (機能の追加)] ウィザードを閉じます。
- 5 サーバマネージャを終了します。
- 6 目的の PlateSpin Server ホストに [Microsoft .NET Framework 4.5.2 \(https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=42642\)](https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=42642) をダウンロードしてインストールします。  
インストールが完了するまで待機した後、処理を続行します。
- 7 IIS マネージャを使用して、32 ビットモードで動作するように IIS を設定します。
- 7a IIS マネージャーを開きます Windows タスクバーで、**スタート > 管理ツール > Internet Information Services (IIS) Manager (インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ)** の順に選択します。
- 7b [接続] ペインでサーバ名を展開し、[アプリケーション プール] をクリックして、中央のペインで使用可能なアプリケーションプールのリストを表示します。
- 7c リストの [DefaultAppPool] を右クリックして、[詳細設定] をクリックします。
- 7d [詳細設定] ダイアログで [32 ビット アプリケーションの有効化] を [True] に設定して、[OK] をクリックします。
- 7e 右側の [操作] ペインで [アプリケーション プールの既定値の設定] をクリックします。
- 7f [アプリケーション プールの既定値] ダイアログで [32 ビット アプリケーションの有効化] を [True] に設定して、[OK] をクリックします。

- 7g IIS サービスを再起動します [接続] ペインで IIS サーバ名を選択し、[操作] ペインで再起動をクリックします。
- 7h IIS マネージャを終了します。

## PlateSpin Protect ソフトウェアコンポーネントのインストール

この項では、PlateSpin Protect ソフトウェアに付属する、必要なコンポーネントのインストールについて説明します。この製品に付属する SQL Server ソフトウェアを製品と同じサーバにインストールせず、リモート Microsoft SQL Server データベースサーバとその環境を使用するには、リモート接続できるように SQL Server と環境を設定する必要があります。

- ◆ [18 ページの「PlateSpin Protect をインストールする前に」](#)
- ◆ [19 ページの「PlateSpin Protect インストールプログラムのダウンロード」](#)
- ◆ [19 ページの「データベースサーバのインストール」](#)
- ◆ [21 ページの「PlateSpin Server のインストール」](#)

### PlateSpin Protect をインストールする前に

目的の PlateSpin Server ホストが、次の前提条件を満たしていることを確認します。

- ◆ PlateSpin Server ホストが最小システム要件を満たしていること。詳細については、[7 ページの「システム要件」](#)を参照してください。
- ◆ インストール前の設定が展開ガイドラインに従っていること。詳細については、[9 ページの「展開ガイドライン」](#)を参照してください。
- ◆ 前提条件のソフトウェアがインストール済みで設定済みであること詳細については、[10 ページの「前提条件のソフトウェアのインストール」](#)を参照してください。
- ◆ データベースサーバがインストール済みで設定済みであること。詳細については、[19 ページの「データベースサーバのインストール」](#)を参照してください。

適切なデータベースサーバオプションを選択してください。

- ◆ PlateSpin Protect と共に配布される Microsoft SQL Server Express Edition を使用する場合は、これを最初にインストールします。詳細については、[19 ページの「Microsoft SQL Server Express Edition のインストール」](#)を参照してください。
- ◆ 既存の Microsoft SQL Server データベースサーバを使用する場合は、データベースソフトウェアのインストールをスキップします。この製品をインストールする前に、[20 ページの「リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定」](#)に従って SQL Server と環境を設定します。

# PlateSpin Protect インストールプログラムのダウンロード

- 1 PlateSpinProtectSetup-11.2.1.xxxx.exe インストールプログラムを PlateSpin Protect ダウンロード ページからダウンロードします。
  - 1a **Micro Focus ダウンロード** (<https://www.microfocus.com/support-and-services/download/>) に移動します。
  - 1b **Browse by Product (製品別に参照)** リストから PlateSpin Protect を選択するか、**Browse by Product (製品別に参照)** フィールドに製品名を入力して当該製品を検出して選択します。
  - 1c ダウンロードの概要ページで **proceed to download (ダウンロードする)** をクリックし、顧客アカウントの資格情報でログインします。
  - 1d 米国の輸出法と規制に同意するために、**accept (受諾する)** をクリックします。
  - 1e ダウンロードページで、PlateSpinProtectSetup-11.2.1.xxxx.exe ファイルの横にある **download (ダウンロード)** をクリックしてから、ファイルを保存します。
- 2 ダウンロードしたファイルを、目的の PlateSpin Server ホストにおけるアクセス可能な場所にコピーします。

## データベースサーバのインストール

PlateSpin Protect をインストールする前に、次のいずれかの方法でデータベースサーバを設定します。

- ◆ 19 ページの「[Microsoft SQL Server Express Edition のインストール](#)」
- ◆ 20 ページの「[リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定](#)」

## Microsoft SQL Server Express Edition のインストール

既存の Microsoft SQL Server データベースサーバが存在しない場合は、PlateSpin Protect ソフトウェアの配布パッケージに付属の Microsoft SQL Server Express Edition をインストールできます。

---

**注：** PlateSpin Protect Server に付属する Microsoft SQL Server Express Edition は、[Microsoft Developer Network](#) にある [推奨事項](http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms143506%28v=sql.120%29.aspx#DC_support) ([http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms143506%28v=sql.120%29.aspx#DC\\_support](http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms143506%28v=sql.120%29.aspx#DC_support)) に従っても、ドメインコントローラにはインストールできません。

---

**Microsoft SQL Server Express をインストールするには：**

- 1 目的のデータベースサーバホストで、Installation Launcher を起動します。  
19 ページの「[PlateSpin Protect インストールプログラムのダウンロード](#)」を参照してください。
- 2 [[SQL Server Express のインストール](#)] をクリックして、画面の指示に従います。

このプログラムでは、PlateSpin Protect の運用に必要なデータベースサーバおよびデータベースインスタンスをインストールします。

- 3 (条件に応じて実行)PlateSpin Server として使用するサーバではないサーバに SQL Server データベースサーバが存在する場合は、これらのサーバをリモート接続できるように環境を設定します。詳細については、20 ページの「[リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定](#)」を参照してください。

## リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定

既存の Microsoft SQL Server のインストール環境が適切に動作するためには、PlateSpin Protect をインストールする前に、環境を特定の条件に設定する必要があります。次の各設定により、SQL Server と PlateSpin Server をリモート接続できるようになります。

既存の SQL Server を準備するには：

- 1 サポートされているバージョンの Microsoft SQL Server を目的のデータベースサーバで実行していることを確認します。詳細については、8 ページの「[データベースサーバ](#)」を参照してください。
- 2 PlateSpin Protect で使用する専用の名前付きデータベースインスタンスが存在することを確認します。この製品のインストールでは、目的のデータベースサーバの名前およびデータベースインスタンスの名前が必要です。

---

**注：**同じ Microsoft SQL Server データベースサーバを使用して、複数の PlateSpin Protect サーバと PlateSpin Migrate サーバで使用するデータベースインスタンスをホストできます。それぞれのデータベースインスタンスには固有の名前を指定し、該当の PlateSpin Server に合わせて、これらのインスタンスを別々に設定する必要があります。

---

- 3 TCP/IP 接続と名前付きパイプ接続の両方を実現できるように Microsoft SQL Server を設定していることを確認します。
- 4 (条件に応じて実行)Windows 認証を使用して Microsoft SQL Server データベースにアクセスする場合は、Active Directory で次のように設定する必要があります。
  - ◆ 該当のドメインに Microsoft SQL Server データベースサーバを追加する必要があります。
  - ◆ PlateSpin Protect のインストールでは、次に挙げる 2 つのドメインユーザアカウントが必要です。

- ◆ **sysadmin 役割を設定したドメインユーザ：**SQL 管理者の権利を持つこのユーザは、データベース、テーブル、およびその他のスキーマオブジェクトを作成するために必要です。
- ◆ **PlateSpin Service ユーザ：**ドメインの中で低い特権を持つドメインユーザをサービスユーザとすることもできますが、そのユーザは、PlateSpin Protect Server でローカル管理者になっていること、およびインストールの前にその特権を与えられていることが必要です。

Windows ユーザのパスワードを変更した場合は、PlateSpin Service ユーザと IIS App Pool のパスワードもそれぞれ更新する必要があります。このような状況を避けるには、パスワードが失効しない Windows ユーザの使用を検討します。

---

**注：**Windows 認証を使用する場合、PlateSpin Server をアップグレードまたはアップデートする際に、SQL 管理者の権利を持つドメインユーザとしてログインする必要があります。

---

- 5 SQL Server に対する認証をサポートするために、ファイアウォール上で次の各ポートを開きます。
- ◆ **ポート 49152 ~ 65535/TCP:** LSA、SAM、Netlogon の RPC トラフィックを許可します。
  - ◆ **ポート 1433/TCP:** Microsoft SQL Server のトラフィックを許可します。
  - ◆ **カスタムポート:** カスタム TCP ポートを使用するように SQL Server を設定する場合は、そのポートをファイアウォール上で開く必要があります。

---

**注:** ダイナミックポートを使用しない場合は、データベースサーバフィールドで専用ポートを指定する必要があります。

---

- 6 (条件に応じて実行) PlateSpin Protect で専用ポートを使用する場合は、そのポートをファイアウォール上で開く必要があります。

6a データベースサーバ上で、開く必要があるポートを判断します。

6a1 SQL Server 構成マネージャで、**Protocols for SQL Express (SQL Express のプロトコル) > TCP/IP** の順に選択し、右クリックして**プロパティ**を選択します。

6a2 表示されたダイアログで **IP アドレス** タブを選択します。

6a3 **IPAll**(または目的のプロトコル) で **TCP ポート** または **TCP 動的ポート** が 0 以外の値に設定されている場合は、指定のポートをファイアウォール上で開きます。これらのポートが、SQL Server との接続で使用されるポートです。

たとえば、**TCP 動的ポート** フィールドが 60664、**TCP ポート** フィールドが 1555 にそれぞれ設定されている場合は、SQL Server に対するファイアウォールルールでポート 60664 と 1555 を有効にします。

6b これらのポートをファイアウォール上で開きます。

---

**注:** ダイナミックポートの値を設定している場合は、**参照** をクリックしても、そのサーバが SQL Server のリストに表示されないことがあります。その場合は、PlateSpin Protect のインストールで表示される **データベースサーバ** 入力フィールドで、そのサーバを手動で指定する必要があります。

たとえば、使用しているサーバの名前が **MYSQLSERVER**、データベースインスタンス名が **SQLEXPRESS**、ダイナミックポートに設定している専用ポートが 60664 である場合は、次のテキストを入力し、目的の認証タイプを選択します。

`MYSQLSERVER\SQLEXPRESS,60664`

これらのポートをファイアウォール上で開く必要があります。

---

## PlateSpin Server のインストール

ターゲットデータベースサーバを設定したら、PlateSpin Server をインストールする準備ができました。

- 1 目的の PlateSpin Server ホスト上で、**Installation Launcher** を起動します。

SQL Server の既存のローカルインストールがインストールプログラムで検出されると、該当の **[Install SQL Server Express (SQL Server Express のインストール)]** オプションが無効になります。

- 2 PlateSpin Protect インストールランチャで、**Install PlateSpin Server (PlateSpin Server のインストール)** をクリックします。

- 3 ソフトウェアの使用許諾契約を読み、**I accept the terms in the license agreement (使用許諾契約の条件に同意します)** オプションを選択して、**次へ**をクリックします。

製品をインストールする前に、ソフトウェアライセンス合意書を受諾する必要があります。
- 4 一時設定ファイルの場所を指定し、**次へ**をクリックします。
- 5 データベースサーバおよびデータベースインスタンスを指定します。次のいずれかの操作を行います。
  - ◆ ローカルにインストールされた PlateSpin Protect ソフトウェアの配布パッケージに含まれるデータベースサーバを使用する場合は (デフォルトのオプション)、ドロップダウンリストでデフォルトの選択 ((ローカル)PLATESPINDB) をそのまま使用し、デフォルトの sa 資格情報もそのまま使用します。

後ほど PlateSpin Protect データベースインスタンスを移動したり、SQL Server パスワードを変更したりする場合は、PlateSpin Protect データベースの接続設定をリセットする必要があります。詳細については、[ナレッジベースの記事 7970523 \(https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7970523\)](https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7970523) を参照してください。
  - ◆ リモートデータベースサーバを使用する場合は、**[参照]** をクリックし、ネットワーク内で利用できるデータベースサーバのリストから選択します。データベースは次の形式で指定します。
    - ◆ **単一インスタンス SQL Server のインストール**: データベース \_ サーバ
    - ◆ **複数インスタンス SQL Server のインストール**: データベース \_\_ サーバ \\ データベース \_ インスタンス (インスタンス名を指定)
- 6 指定したデータベースサーバに対するデータベース資格情報を指定し、**[Validate Server (サーバの検証)]** をクリックしてこれらの資格情報を検証します。

(デフォルトの設定は、**SQL サーバ**: (local)PLATESPINDB、**SQL ログオン**: sa です。)
- 7 **[次へ]** をクリックし、**[SQL インスタンス]** および **[SQL ログオン]** の内容を確認します。
- 8 **[次へ]** をクリックします。
- 9 インストールプログラムにより、HTTP と HTTPS のいずれを許可するかを指定することを求めるプロンプトが表示されます。
  - ◆ セキュリティ保護された接続 (HTTPS) が必要な場合は、オプションを選択せずにそのまま残してください (デフォルト)。

IIS サーバに署名済みの SSL 証明書がある場合、デフォルトの通信プロトコルは HTTPS になります。そうでない場合は、「信頼できない接続」に関する警告がブラウザに表示されます。これは普通のことです。続行する方法については、ブラウザのドキュメントを参照してください。
  - ◆ セキュリティ保護されていない接続 (HTTP) が必要な場合は、**Allow unsecured connections (HTTP) (セキュリティ保護されていない接続 (HTTP) を許可する)** オプションを選択します。
- 10 **次へ**をクリックし、インストールの設定を確認します。**インストール**をクリックし、画面の指示に従います。

インストールプログラムは、PlateSpin Server ソフトウェアをインストールし、実行準備をします。

---

**注**: この処理の完了までに、数分かかることがあります。

---

# インストール後のタスク

PlateSpin Server のインストールが終了したら、次のことを実行します。

- ◆ Web インタフェースを起動します。『ユーザガイド』の「[PlateSpin Protect Web インタフェース](#)」の起動を参照してください。
- ◆ ご使用の製品のライセンスを取得し、ワークロード保護に備えて環境を設定します。『ユーザガイド』の「[製品ライセンスの有効化](#)」を参照してください。
- ◆ Web インタフェースに習熟します。『ユーザガイド』の「[PlateSpin ツールの使用](#)」を参照してください。
- ◆ (オプション、国際バージョンを対象) 特定のサポート対象言語で使用するよう PlateSpin Protect およびブラウザを設定します。『ユーザガイド』の「[国際バージョンの言語設定](#)」を参照してください。
- ◆ (オプション) 組織で必要とされたとおりに、適切な役割ベースのアクセス設定を設定します。『ユーザガイド』の「[ユーザ権限および認証の設定](#)」を参照してください。
- ◆ SMTP の設定を行い、電子メール通知の受信者を追加します。『ユーザガイド』の「[イベントレポートとレプリケーションレポートの電子メール通知サービスの設定](#)」
- ◆ ワークロード保護のライフサイクルを十分に理解します。『ユーザガイド』の「[ワークロードの保護と回復の基本ワークフロー](#)」を参照してください。





# 2 PlateSpin Protect のアップグレード

PlateSpin Server を PlateSpin Protect 11.2 SP1 にアップグレードするには、PlateSpin Protect 11.2 の既存インストールが存在している必要があります (ホットフィックスやフィールドパッチの適用の有無は関係ない)。他の直接アップデートはサポートされていません。

---

**注:** これより前のバージョンの PlateSpin Protect の場合、バージョン 11.2 SP1 にアップグレードするには、まず PlateSpin Protect 11.2 にアップグレードする必要があります。PlateSpin Server のアップデート方法については、次のガイドで「PlateSpin Protect のアップグレード」を参照してください。

- ◆ [PlateSpin Protect 11.2 インストールおよびアップグレードガイド](https://www.netiq.com/documentation/platespin-protect-11-2/protect_install/data/ch2-upgrading-ps-protect.html) (https://www.netiq.com/documentation/platespin-protect-11-2/protect\_install/data/ch2-upgrading-ps-protect.html)
- ◆ [PlateSpin Protect 11.0.1 インストールおよびアップグレードガイド](https://www.netiq.com/documentation/platespin_protect_11/protect_install/) (https://www.netiq.com/documentation/platespin\_protect\_11/protect\_install/).

- 
- ◆ 25 ページの「PlateSpin Protect をアップグレードする前に」
  - ◆ 26 ページの「アップグレード手順」
  - ◆ 28 ページの「アップグレード後のタスク」

## PlateSpin Protect をアップグレードする前に

PlateSpin Server ソフトウェアを PlateSpin Protect 11.2 SP1 にアップグレードする前に、次の前提条件を満たすように PlateSpin Server とワークロード環境を準備します。

- (条件付き) VM コンテナでサポート対象バージョンの VMware ESXi が実行されていること、および購入済みのライセンスがあることを確認します。詳細については、『[「PlateSpin Protect」ユーザガイド](#)』の[サポートされる VM コンテナ](#)を参照してください。
- すべての保護されたワークロード用のレプリケーションスケジュールを一時停止して、実行中のレプリケーションがないようにします。詳細については、[26 ページの「レプリケーションスケジュールの一時停止」](#)を参照してください。
- サーバのデフォルトの動作を制御しているカスタマイズされた .config パラメータがあれば記録します。これらの設定は、アップグレード後に復元する必要があります。
- データベースファイルをバックアップします。詳細については、[26 ページの「データベースファイルのバックアップ」](#)を参照してください。
- .NET Framework 4.5 を .NET Framework 4.5.2 にアップグレードします。

## レプリケーションスケジュールの一時停止

PlateSpin Protect をアップグレードする前に、次の手順に従って、PlateSpin Server によって保護されているワークロードのレプリケーションスケジュールを一時停止し、実行中のレプリケーションがないことを確認します。進行中のレプリケーションが正常に完了するのを待機するか、そのレプリケーションを中止することができます。

- 1 PlateSpin Protect Web インタフェースでワークロードをクリックします。
- 2 [ワークロード] ページで、**Select All (すべて選択)** をクリックしてから **Pause Schedule (スケジュールを一時停止)** をクリックします。続いて、**Execute (実行)** をクリックし、スケジュールされたすべてのレプリケーションの一時停止を開始します。
- 3 [ワークロード] ページで、保護されたワークロードの [Schedule (スケジュール)] 状態が **[Paused (一時停止中)]** であることを確認します。
- 4 [ワークロード] ページで、保護されているそれぞれのワークロードの [Replication Status (レプリケーションステータス)] が **Idle (アイドル)** であることを確認してください。進行中のレプリケーションが完了するまで待機するか、実行中の操作を中止します。

アップグレード前にこのタスクを実行しない場合、ソフトウェアアップグレードの実行前に、アップグレードソフトウェアが実行中のジョブを自動的に検出し、続行する前にこのタスクを実行するよう要求します。アップグレードプロセスを続行できるのは、各ワークロードの [Replication Status (レプリケーションステータス)] が **Idle (アイドル)** である場合のみです。

## データベースファイルのバックアップ

次の手順で、PlateSpin Protect がインストールされているサーバに常駐している Microsoft SQL Server データベースファイルを手動でバックアップします。ロールバックが必要になった場合は、このバックアップファイルを使用できます。

- 1 サーバホスト上で、Microsoft SQL サービスを停止します。
  - 1a **[スタート]** メニューから **[ファイル名を指定して実行]** をクリックし、「services.msc」と入力し、**[OK]** をクリックします。
  - 1b **[サービス]** ウィンドウで **[SQL Server]** 項目を右クリックし、**[停止]** を選択します。
- 2 すべての \*.mdf ファイルと \*.ldf ファイルを、製品インストールディレクトリ外の場所にコピーします。これらのファイルのデフォルト場所は次のとおりです。  
\\Program Files\PlateSpin Protect Server\Database
- 3 **ステップ 1** で停止した MS SQL サービスを再起動します。

---

**注：**この手順では、PlateSpin Protect Server がインストールされているサーバに Protect データベースもインストールされていることを想定します。外部の SQL サーバも同様のステップでバックアップできますが、\*.mdf および \*.ldf ファイルのパスはご使用の SQL サーバに固有のものになります。

---

## アップグレード手順

アップグレードプロセス中、インストールプログラムは前のインストールからデータを自動的にエクスポートした後、再インポートします。

## PlateSpin Protect 製品をアップグレードするには：

- 1 25 ページの「PlateSpin Protect をアップグレードする前に」のタスクを実行して、ソフトウェアアップグレードに備えます。
- 2 管理者ユーザとして PlateSpin Protect セットアップ実行ファイルを実行し、画面の指示に従います。  
サーバのインストール時に要求されたら、データの保存オプションを必ず使用します。

---

**注：**レプリケーションジョブがまだ実行されている場合、ジョブを確認すると、[検出されたジョブの実行] ダイアログが起動されることがあります。このプロンプトは、一部のジョブを中止したため、ジョブの状態が正しく検出されなかったときにも表示されることがあります。全操作が完了するのを待機するか、実行中の操作を中止する必要があります。各ワークロードのレプリケーション状態が **Idle (アイドル)** になったら、インストールダイアログで **[はい - インストールを続行します]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

---

- 3 PlateSpin Protect ソフトウェアがバージョン 11.2 SP1 にアップグレードされたことを確認します。
  - 3a PlateSpin Protect Web インタフェースにログインします。  
ログイン画面にアクセスできない場合、アップグレードに失敗した可能性があります。PlateSpin Server ホストが稼働していること、PlateSpin Server が実行されていること、およびネットワーク接続が有効であることを確認してから、もう一度ログインしてみてください。それでもログイン画面にアクセスできない場合は、アップグレードプロセスに失敗しました。[ステップ 5](#) にジャンプします。
  - 3b **[About (バージョン情報)]** をクリックして、バージョン番号を表示します。[About (バージョン情報)] ページでは、**[Software Version (ソフトウェアバージョン)]** は 11.2.1.xxxx である必要があります。xxxx は、ビルド番号を表します。  
  
バージョン番号として以前のバージョンが表示される場合、ブラウザキャッシュに問題が発生している可能性があります。ブラウザキャッシュをクリアしてから、ブラウザのクローズと再起動を実行して、再度試行してください。バージョンが古いままの場合、アップグレードに失敗しました。[ステップ 5](#) にジャンプします。
- 4 アップグレード後に、保護されたワークロードデータが正常に再インポートされていることを確認します。PlateSpin Forge Web インタフェースで **[ワークロード]** をクリックし、期待されたワークロードが存在していることを表示して確認します。

保護されたワークロードが存在しない場合は、アップグレードプロセスの一部またはすべてに失敗しています。

インストールプログラムでは、アップグレードプロセス中にエクスポートしたデータが自動的に再インポートされないことがあります。この問題が発生した場合は、ImportExportAll.bat ユーティリティを使用して、サーバホスト上の次のディレクトリからこのデータを回復します。

- ◆ **Windows Server 2012 R2 システム** : \ProgramData\PlateSpin  
このフォルダはデフォルトで非表示になっています。
- ◆ **Windows Server 2008 システムの場合** : \ProgramData\PlateSpin  
このフォルダはデフォルトで非表示になっています。
- ◆ **Windows Server 2003 システムの場合** : \Documents and Settings\All Users\Application Data\PlateSpin

データベースアクセスに Windows 認証を使用する場合、インポートまたはエクスポートするには次の条件を満たす必要があります。

1. ユーザは、データベースにアクセスするための SQL 管理者の権利を持つ **ドメインユーザ** としてログインする必要があります。このユーザは、インストール時に指定します。[20 ページの「リモート Microsoft SQL Server データベースサーバの設定」のステップ 4](#) を参照してください。
2. データベースにアクセスするための SQL 管理者の権利を持つ **ドメインユーザ** は、インストール時に必要なので、ローカルの Administrators グループのメンバーである必要があります。
3. ImportExportAll.bat ユーティリティを実行するプロセスには昇格権限が必要です。そのため最も簡単な方法は、[管理者として実行] コンテキストメニューオプションを使用してコマンドウィンドウを起動することです。
- 5 [ステップ 3](#) のテストにより、ソフトウェアアップグレードに失敗したことが判明した場合、または [ステップ 4](#) でデータを再インポートできなかった場合は、アップグレードを再度試行します。
- 6 アップグレードが正常に完了したら、[28 ページの「アップグレード後のタスク」](#)に進みます。

## アップグレード後のタスク

PlateSpin Protect ソフトウェアのアップグレード後、次のタスクを実行して、PlateSpin Server の通常動作を再開する必要があります。

- 1 PlateSpin Protect Web インタフェースにログインします。
- 2 **ワークロード** をクリックし、中止されたレプリケーションスケジュールが [ワークロード] ページにないかどうかを確認します。特に、製品の以前のバージョンの従来のブロックベースのコンポーネントを使用していた、自動的にアップグレードされる保護コントラクト向けに生成されたタスク (オプションのコマンドを使用する特別なワークロード保護イベント) を探します。これは、保護されたワークロードを再起動する必要があります。
- 3 次の場所から、PlateSpin 環境設定の必要な設定を適用します。  
[https://Your\\_PlateSpin\\_Server/platespinconfiguration/](https://Your_PlateSpin_Server/platespinconfiguration/)
- 4 アップグレードされた PlateSpin Server に、ワークロード用のコンパイル済みの blkwatch ドライバが存在することを確認します。『[ユーザガイド](#)』の「[Protect](#)によってサポートされている Linux ディストリビューション」を参照してください。  
コンパイル済みのドライバがない場合は、[ナレッジベースの記事 7005873 \(https://www.netiq.com/support/kb/doc.php?id=7005873\)](#) の手順に従って、カスタム blkwatch ドライバを作成できます。
- 5 PlateSpin Protect Web インタフェースで、**ワークロード** をクリックして **Select All (すべて選択)** をクリックし、**Resume Schedule (スケジュールの再開)** をクリックします。続いて、**Execute (実行)** をクリックして、すべてのスケジュールされたレプリケーションを再開します。
- 6 PlateSpin Server とレプリケーションが正常に機能していることを確認します。